

令和4年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
—	—	河野 訓	学長・教授	宗教学・仏教学	(1)漢訳仏典と儒仏道三教交渉史の研究 (2)20世紀中後半における中国仏教寺院の変貌の研究 (3)宗教都市伊勢における神仏分離と全国の神仏分離との比較研究 (4)中国における宗教の相克と江戸時代の宗教思想との相互関連の研究 (5)世界の諸宗教に関する研究
文学部	神道学科	板井 正斉	教授	宗教社会学、宗教民俗学、神道福祉論、GIS研究	①地域神社に関する地理空間(GIS)分析 ②神社を参拝する人々の情報発信に関する複合的研究 ③宗教施設を地域資源とした地域防災のアクションリサーチ ④GISを活用した歴史資料の分野横断型研究に関する基礎的研究
		加茂 正典	特命教授	神道史、日本文化史	前近代における国家と祭祀の史的研究 ①鈴木重胤関係資料の蒐集と研究。 ②吉田神社社家鈴鹿家文書の研究。 ③伊勢神宮祭祀と朝廷祭祀の史的研究
		中山 郁	教授	宗教学、高等教育研究	①海外慰霊巡拝に関する基礎的研究 ②修験道における行法と霊山祭祀の研究 ③人文学におけるPBL授業の展開に関する研究
		橋本 雅之	特別教授	上代文学・神話学・日本文化論	1、近世における古風土記の受容 2、澤瀉久孝の万葉学形成に関する基礎的研究 3、日本文化の深層意識と日本神話
		松本 丘	教授	神道学(特に神道史・神道思想史)	1、垂加神道を中心とする江戸時代神道史の研究 2、崎門における神道・儒学思想の研究
		岩城 隆宏	特命准教授	装束に関して	現行の装束規定について検証する
		高野 裕基	助教	近現代神道史 宗教行政史	井上哲次郎の教育勅語解釈に関する研究
	国文学科	大島 信生	教授	上代国語国文学	1、万葉集の訓詁注釈的研究 2、日本書紀の研究
		上小倉 一志	教授	書道	・隸書から楷書への過渡期の文字変遷とその表現法に関する研究(継続中) ・韓天寿『岡寺版集帖』に関する調査・研究(継続中) ・硯と墨色の研究(継続中) ・筆の材質による表現の変化の研究
		齋藤 平	教授	日本語学・社会言語学	① 地震津波記念碑の社会言語学的研究 ② 三重県方言の研究 ③ 近似字形の研究
		田中 康二	教授	日本近世文学・国学	江戸時代中期に発祥した「国学」について、古代・中世にルーツを持つ「歌学」からの連続性と断絶という観点と、近代以降現代に及ぶ国文学研究、さらには古典教育への断絶性という観点の二つの視座から、国学者の残した業績を見直す作業を行う。また、それらを通時的に貫通する「日本古典学」を構築することを目標とする。
		深津 睦夫	特別教授	日本中世文学	(1)神道と和歌との関係 (2)勅撰和歌十三代集について
		松下 道信	教授	中国宗教思想	・道教(北宋～元までの全真教・内丹道について) ・神道と中国思想、特に道教思想とのかかわりについて

令和4年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題	
		岡野 裕行	准教授	文学散歩、文学散歩、 ビブリオバトル、書物文化、読書とコミュニケーション	①文学散歩の研究 ②文学館の研究 ③ビブリオバトルの研究	
文学部	国文学科	千邑 淳子	特命准教授	公共図書館と地域、マイクロライブラリー	①図書館の企画展示 ②公共図書館における地域との連携と地域活性化 ③マイクロライブラリーの可能性	
		平石 岳	助教(24年度新任)	日本近代文学	昭和期における徳富蘆花文学の受容と再創造に関する研究	
		吉井 祥	助教	中古文学	「平安時代における和歌の機能とその変容に関する研究」 平安和歌の機能と史的展開について、特に社交詠に着目して明らかにする。	
	遠藤 慶太	教授	日本古代史	九世紀に在位した仁明天皇の個人史を主題として、平安前期の宮廷社会や文化の様相を評伝としてまとめる。		
	岡野 友彦	教授	日本中世史	① 中世公家社会と公家領荘園に関する研究 ② 北畠親房と伊勢国司北畠氏に関する研究 ③ 中世の伊勢神宮と神道・神社に関する研究 ④ 源氏長者・徳川家康に関する研究 ⑤ 古文書の料紙に関する研究		
	川口 雅昭	特命教授	日本教育史学	吉田松陰における幽囚室教育と松下村塾教育の連続・非連続性の研究		
	多田 實道	教授	日本中世史	神宮と仏教の関係についての研究		
	松浦 光修	教授	日本思想史研究	幕末維新期の思想史的研究		
	谷口 裕信	准教授	日本近代史、地方行政史	①近現代日本における郡の地域 ②御師廃絶後の旧御師の活動について		
	堀内 淳一	准教授	東アジア古代外交史・コンテンツ文化史	(1)古代における日本・朝鮮・中国を中心とした外交関係 (2)日本における魏晉南北朝史の展開 (3)日本における中国イメージ形成の展開について		
	谷戸 佑紀	助教	日本近世史	① 近世国家における伊勢神宮の位置づけに関する研究 ② 近世の神社に関する研究 ③ 近世社会の統治システムに関する研究		
	長谷川 怜	助教	日本近現代史 満洲経営 戦争と宗教 満蒙開拓団の戦後 図画像史料研究	① 日本の満洲進出と国内向けプロパガンダの研究 ② 満蒙開拓団引揚げ後の国内での生活再建について、三重県・奈良県における再開拓を行った天理教開拓団を事例として分析 ③ 旧華族家の生活史をオーラルヒストリーと文字史料を組み合わせる分析 ④ 古写真・絵葉書・音源など非文字史料の歴史学への活用 ⑤ GISを活用した分野横断型研究プラットフォーム構築にむけた基礎的研究		
	コミュ		張 磊	教授	日本語教育 e-Learning	漢字文化圏での日本語教育における効率的な学習方法について

令和4年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
文学部	ニケーション学科	豊住 誠	教授	英語教育学	英語教育の理論および実践にかかわる研究
		芳賀 康朗	教授	心理学	ヒト特異性の認識に関する心理学的研究
		クリストファー・ロイヤー	教授	日本文化史、日本中世史、日本英語教育史、日本史	(1) 歴史学と文学の接点に関する研究 (2) 日本古典の翻訳と註釈に関する研究 (3) 日本辞書史の研究 (4) 日本英語教育史にかかわる研究
	コミュニケーション学科	川村 一代	准教授	英語教育	テーマ: Assessing English Interactional Competence of Japanese Junior High School Students (中学生の英語対話能力の評価) 中学生の英語対話能力を評価するのに妥当性の高いテスト形式を調査する。そのため、「教師による面接型テスト」と「生徒同士の対話型テスト」を実施し、それぞれの形式で引き出される発話がどう異なるのか、対話能力の構成概念に照らし合わせ、生徒の発話を分析する。
		桐村 喬	准教授	人文地理学・地理情報科学	都市に関する総合的な時空間GISデータベースの構築と分析手法の開発
		栗野 理恵子	准教授	受容的音楽療法 フォーカシング こころの健康づくり	① フォーカシング指向音楽聴取がもたらす心理・生理的反応と体験過程尺度および内受容感覚の関連 ② 受容的音楽聴取がもたらす心理的成長
		高沢 佳司	准教授	心理学	身体感覚に対する認知(メタ認知)の一つである、内的感覚への心理的距離の決定要因を想起容易性パラダイムおよび動機づけの観点から明らかにすること。
		中山 真	准教授	心理学	① 新型コロナウイルス感染症にかかる意思決定に関する研究 ② 美容整形に対する態度尺度作成
		玉田 貴裕	助教	英語学	古英語の接頭辞a-の意味・機能の記述
教育学部	教育学科	大杉 成喜	教授	特別支援教育・教育工学	・障害のある児童生徒の教材開発・実践研究 令和3年度～5年度科学研究補助金(研究代表:大杉成喜)「視線入力を活用した重度身体障害児者の遠隔eSports参加による自己肯定感の向上」 ・小さい子ども・知的障害のある子どものプログラミング教育に関する研究 ・三重県の地域の課題に応じた特別支援教育にかかる実践的研究
		加藤 純一	教授	体育科教育学 武道思想史	○反転授業の運用方法について ○コロナ禍における剣道暫定審判法韓国剣道への影響 ○VTRを用いた模擬授業の省察
		叶 俊文	教授	体育心理学	・子どもの運動に対するどうきづけについて ・子どもに対する野外教育の意義について
		駒田 聡子	教授	食育 教科教育(家庭科・総合的な学習の時間)小児保健 地域連携	1. 保育教育現場における食物アレルギー児支援 2. 保育・教育現場における食育、環境の在り方 3. 実践を伴う幼児教育・教科教育の在り方、及び地域連携について(保育・学校教育・社会教育)
		勢力 稔	特命教授	教育学、教科教育学、教師教育学	「教員の授業改善(ICT活用含)を目指した研究」 一主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を目指した、授業方法 (ICT活用・評価手法)の開発を中心にー

令和4年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
		中條 敦仁	教授	国語教育学 言語教育学 ICT 教育	国語教育:国語科の物語・小説教材内容の可視化と帰納的推論力の育成に関する研究 言語教育:言語習得と絵本内容の関連性の研究 ICT 教育:教育におけるデジタル紙芝居の有効性に関する研究
		中松 豊	教授	応用昆虫学 理科教育学 生活科教育学 環境教育学	・寄生蜂を使った昆虫の生体防御機構の解明 ・保育園から高等学校理科の生物分野における昆虫を使った教材開発
		吉田 直樹	教授	環境心理学・臨床心理学 学・発達心理学	心理相談施設におけるスピーチブライパシーの保護に関する研究
教育学部	教育学科	渡邊 賢二	教授	教育心理学, 家族心理学	児童期から青年期の親子関係, 親子間葛藤, 子育て支援 小中学生と教師の支援
		渡邊 毅	教授	道德教育	道德教育の教育的効果に関する研究 道德教育による子供の学校不適應の予防と対処に関する研究 戦前期の道德教育研究
		秋元 雅仁	准教授	発達障害教育学・インクルーシブ教育学	どの子ども安心して、他の級友らと共に同じ内容を学ぶことのできる学校や学級を目指して、「あればできる」教材や教具の活用を促すとともに、誰をも対象としたユニバーサルデザインをめざした授業改善に資する方策等を検討する。
		市田 敏之	准教授	教育行政学	米国における初等中等教育段階の科学技術人材育成に関する研究 我が国における市町村教育財政に関する研究
		井上 兼一	准教授	教育史学	1930～40年代における学制改革の再検討 戦後三重県における教育委員会の施策と活動に関する基礎的研究 近代の災害援助支援と政府・皇室・宗教の役割に関する実証的研究
		小川 真由子	准教授 <small>(R4年度新任)</small>	学校保健、保育学	1) 救急処置の臨床判断に関する研究(科研費研究(代表)) 2) 孫育てに関する研究(科研費研究(分担))
		片山 靖富	准教授	応用健康科学	・身体活動の増加ならびに運動の習慣化を促す研究(運動プログラムの開発) ・大学生体力と学力との関係/大学体育授業の教育効果 ・幼保教員の身体活動量と園児の身体活動量との関係 ・三重県のとこわかダンスや伊勢市の健康体操実践時の生体反応(酸素摂取量, 心拍数など)の評価 ・世界的なスポーツイベントが運動・スポーツに対する興味・関心の向上および運動実践のきっかけとなるかの研究
		佐藤 武尊	准教授	自然科学(柔道)	(1) 国際柔道選手競技分析研究 (2) 柔道授業におけるIT機器活用に関する研究 (3) 柔道初心者における頭部外傷に関する調査 (4) 大学柔道選手における健康状態に関する研究
		高橋 摩衣子	准教授	音楽教育	●学校音楽教育/幼児音楽教育の現状および時代に即した教員/保育者養成に関する研究。 ●教員・保育者養成課程における学生ミュージカル創作実践。
		土谷 長子	准教授	幼児教育・保育学	乳幼児の発達とそれにふさわしい保育環境・指導のあり方
野々垣 明子	准教授	教育哲学 社会教育史	①教員養成における「省察」に関する研究(令和3年度からの継続) ②戦後三重県の社会教育施策における民主主義普及活動の研究(令和2年度からの継続)		

令和4年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
		山本 智子	准教授	障害児教育学(指導法)・教育カウンセリング(発達支援)・学校心理学	・特別支援学校における授業改善 ・教育カウンセリングや学校心理学に基づく発達支援
		吉田 明弘	准教授	児童家庭福祉・社会的養護	・児童福祉施設退所者のアフターケアをめぐる課題 ・里親政策にかんする諸課題 ・児童の平和的生存権をめぐる歴史研究
		上野 祐一	助教	解析学、算数・数学教育学	【解析学】Painleve (パルルヴェ)方程式や Garnier 系の量子論への応用や古典論との関係性について 【算数・数学教育学】高大連携の数学の在り方について
教育学部	教育学科	澤 友美	助教	理科教育学、環境教育学、昆虫生理学	・高等学校生物基礎の食作用の実験における、血液保存・提供方法の検討。 ・昆虫の免疫反応を用いた食作用以外の免疫反応の観察・実験教材の開発。 ・大学生による昆虫を用いた出前講座の実践及び現場教員との共同実践。
		萩原 浩司	助教	脱炭素社会を目指した小学校社会科エネルギー教育のカリキュラム開発	・近年、国内外で取り組みが活発化している脱炭素を取り入れた小学校社会科エネルギー教育のカリキュラム開発。 ・脱炭素社会を目指す上で重要となる小学校社会科におけるエネルギー概念の明確化。
現代日本社会学部	現代日本社会学科	鶴沼 憲晴	教授	社会福祉	社会福祉における権利擁護システムの構築
		笠原 正嗣	教授	「交通空白地」における高齢者の移動支援策	公共交通の衰退傾向が著しい地方中小都市には「交通空白地」が多く存在する。高齢者等の移動困難者への移動支援策の構築が長年の課題となっている。コロナ禍でクルマでの個人移動が目目されが、免許返納議論とも相まって超高齢者には適用できない方法である。安全指導や技術革新による「クルマの社会化」と交通政策刷新によるこれからの移動支援策を考える。
		岸川 政之	特命教授	SB(ソーシャルビジネス)について	地域の課題などをビジネスの手法で解決していくSBをテーマに、皇學館大学をメイン会場に開催される「全国高校生SBP交流フェア」において、全国の高校生や関係団体の取組みを研究し、地域課題の解決方法のヒントを探す。また、学んだSBの手法をどうすれば地域課題の解決に結び付けられるかについて伊勢志摩地域を舞台に考える。この取り組みは、社会臨床実習の受講生および有志(皇學館大学SBPなど)を中心に進めていく。
		関根 薫	教授	老年社会学	社会福祉協議会における法人後見についての研究
		千田 良仁	特命教授	農林水産業経済学、開発経済学、地域活性化論、地域イノベーション論	・農林水産業経済学、経営学視点からの実証的、計量経済学的研究 ・地域の活性化および地域イノベーションに関する実証的研究 ・地域食文化研究
		筒井 琢磨	教授	地域社会学	地域社会における市民参加の現状と課題に関する研究(継続)
		富永 健	教授	憲法学	①国体法の研究 国体と憲法との関係、特に現行憲法成立による国体の変革に関する研究 ②政教関係の研究 現行憲法および明治憲法下の政教関係問題の考察 ③憲法改正論の研究 現代における憲法改正論議、各種改正試案についての考察
		新田 均	教授	近代政教関係 皇室関係 地域活性化	①「国家神道」関係の自らの業績の整理を進める。 ②皇位継承問題についての研究をすすめる。 ③皇室の社会事業についての研究を進める。 ④地域の活性化手段についての研究を進める。
		岩崎 正彌	准教授	日本の伝統文化の教育の再構築	日本の伝統文化 ～ その探求と継承、未来への創造と応用～ 基礎：我が国の伝統文化の詳細と本質を学び、その精神的な根源を探求する。 応用：我が国の伝統文化の継承と発展のため、伝統文化教育の内容を構築する。 展開：我が国の伝統文化の未来への創造のため、具体的な方法論を開発し、実践する。

令和4年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
		瓜田 理子	准教授(R4年度任用)	民族音楽学	大礼と神宮式年遷宮からみる神楽秘曲の基礎的研究
		榎本 悠孝	准教授	障害者福祉、精神保健福祉	障害者の居住支援施策に関する総合的研究
		大井 智香子	准教授	社会福祉	人口流動化する産業衰退地域の再生と生活困難者の地域就労を結ぶ支援モデルの開発 本研究は、地場産業の衰退とそれらを支えてきた不安定就業層の高齢化・生活困窮化の同時発生という課題に対し、人口流動化時代に対応する生活困難者の福祉的支援と衰退産業の地域再生を結ぶダブル・チャレンジを可能とする生活支援モデルの開発を目的とする。
		中野 一茂	准教授	ミリタリーソーシャルワークの日本での援用について。	ミリタリーソーシャルワークの日本での援用について。 満蒙開拓団の戦後—天理村開拓団の生活再建と社会保障
現代日本社会学部	現代日本社会学科	藤井 恭子	准教授	地域社会学、教育社会学、社会調査法	①大学生の幸福感を生み出す諸要因の検証 ②若者によるソーシャルビジネスに関する研究
		村上 政俊	准教授	国際政治、米中関係、日本の外交安全保障、インド太平洋	日本政府は国家安全保障戦略等の戦略文書の改定を表明しており、我が国の外交安保戦略全般を見据えた研究取り組みが求められる年度となる。本年前半には日本がクアッド(日米豪印)首脳会合を主催する予定であり、インド太平洋における同盟国及び同志国との連携強化も研究の中心テーマとなろう。
		尾崎 剛志	助教	社会福祉学(障害者福祉)	①精神病患者のリワークに関する研究(当事者組織に焦点) ②障害者雇用と就労支援 ③自治体における自殺対策 ④スクールソーシャルワークに関する基礎的研究 ⑤福祉サービス第三者評価が障害福祉サービスに与える影響
オシアフヨドインス・ツ		田浦 雅徳	特命教授	日本近代政治外交史	外交官研究(松岡洋右と重光葵) 皇學館大学の歴史に関する研究
教育開発センター		中村 哲夫	特命教授	体育・スポーツ史	1. 1930年代IOCにおけるオリンピック運動の諸相 2. 明治末～大正期にかけての愛知一中における運動部活動の検討
		池山 敦	特命准教授	コミュニティ政策	東日本大震災における津波被災自治会の再建過程の検証、その中で特に地域自治会の再建過程における地域課題とその解決法を通して、地域自治会の持続可能性を検証する。また、県内自治体におけるコミュニティ政策の現状及び将来における持続可能性について研究する。
		濱畑 静香	准教授	日本語学、日本語教育	・日本語学習者の口頭運用能力向上に関する研究 ・EPA(経済連携協定)に基づく外国人看護師候補者の日本語運用に関する研究
研究開発推進セン		荊木 美行	教授	日本古代史	記紀・風土記・『新撰姓氏録』を中心とした日本古代史の研究。
		佐野 真人	准教授	日本古代史、神道史	①日本古代における朝廷祭祀・儀礼の研究 ②『延暦儀式帳』の注釈的研究
		浦野 綾子	助教	近世文学	長野義言および国学者の研究

令和4年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
タ 1		小林 郁	助教	日本中世史・神道史	中世～近代における神宮御師の「家」と伊勢信仰に関する研究
		塩川 哲朗	助教	皇室祭祀・神宮祭祀	古代の宮中祭祀と神宮祭祀の構造 古代朝廷で齋行されてきた大嘗祭・新嘗祭をはじめとする天皇祭祀・朝廷祭祀の構造と、伊勢神宮の祭祀構造を比較検討しながら、それぞれの特徴及び本義を解明することを目的とする。既存の研究・思想に捉われない、資史料に基づいた祭祀理解を目指す。